

nagai

ながい 市議会だより

平成19年8月
第78号

2007・8 vol.78



四季折々の 自然の香りを感ずる 伊佐沢児童センター

広いグラウンドに、どっしりと息づく鉄の昆虫は子ども達の人気者です。

地域の人達に見守られながら のびやかに、元気に 明るく育っている「伊佐沢っ子」たちです。

の
す
く
の
す
く

おもな内容

	ページ
◆新体制で新たなスタート!	2
◆職員給与の減額決定!	3
◆一般質問10人が問う!	4~10
◆予算特別委員会	11~12
◆常任委員会の焦点	12
◆ながいの元気印(卓球スポ少)	13
◆傍聴席	14
◆読者モニター募集	14

新体制で新たなスタート!!

去る4月22日執行の市議会議員選挙におきまして18名の議員が決まりました。その後、5月臨時会及び6月定例会で以下の通り議会の体制が決定されましたのでお知らせします。

正副議長あいさつ

議長 佐々木謙二
副議長 町田 義昭

この度改選後の臨時会において、議長・副議長に選出され就任いたしました。

今、国の三位一体の改革等で自治体の財政運営は困難を極めています。人口減少・少子高齢社会を迎え、将来のまちの在り方や次世代を見据えた視点に立ったとき、産業の振興・雇用の創出など若い人の定着を図る施策等、まちづくりの課題は山積しています。

議会としても当局と協力し、難しい時代を乗り切り、真に市民の福祉向上に向けて努力してまいりますので、今後とも市民皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



常任委員会

【総務・文教】

◎渋谷 佐輔 ○我妻 昇 鈴木 良雄 高橋 孝夫 大道寺 信 竹田 博一

【厚生】

◎蒲生 光男 ○谷口 栄子 蒲生 吉夫 大沼 久 安部 隆 町田 義昭

【産業・建設】

◎藤原 民夫 ○鈴木 悟司 鈴木 新助 鈴木 武次 小関 勝助 佐々木謙二

【議会運営委員会】

◎高橋 孝夫 ○安部 隆 大道寺 信 蒲生 光男 大沼 久 小関 勝助

【一部事務組合議会議員】

【置賜広域行政事務組合】

鈴木 武次 藤原 民夫
佐々木謙二

【西置賜行政組合】

高橋 孝夫 小関 勝助
大道寺 信 我妻 昇

【置賜広域病院組合】

蒲生 吉夫 蒲生 光男
佐々木謙二

【長井ダム環境整備促進特別委員会】

◎小関 勝助 ○渋谷 佐輔
蒲生 吉夫 鈴木 新助
鈴木 良雄 町田 義昭
蒲生 光男 谷口 栄子
鈴木 悟司

【地域交通対策特別委員会】

◎鈴木 武次 ○大道寺 信
藤原 民夫 大沼 久
高橋 孝夫 安部 隆
我妻 昇 竹田 博一

【ながい市議会だより編集特別委員会】

◎我妻 昇 ○竹田 博一
小関 勝助 大沼 久
安部 隆 鈴木 悟司

◎委員長 ○副委員長

6月定例会

平成19年6月の定例会は、6月4日から22日までの19日間の日程で開催されました。

一般議案4件、一般会計補正予算案及び特別会計補正予算案2件が提案され、全議案を可決しました。また、人事案件1件、議会案件3件も可決しました。

なお、一般質問には10議員、予算総括質疑には3委員が質問に立ち市政をただしました。

職員給与の減額決定

本定例会に提案された一般議案のうち「一般職の職員の給与の特例に関する条例の設定について」は、異例の最終日提案となりました。その内容は、市財政の健全化に資するため、職員の期末手当の支給割合を職責に応じて、0・25月から0・45月減額するとうものです。期間は19年12月から23年6月の期末手当までとし、その削減効果は、管理職手当減額分の475万円と合わせて、19年度は2千280万円、20年度からは4千700万円程度となります。

委員会付託を省略した全員による審議の中で、19年度の当初予算編成で見込んだ削減額4千840万円からすると、2千540万円不足が生じるのではないかと、12月からの削減ならば9月定例会に間に合いうはず、なぜルールを無視した最終日提案なのか、との質疑がなされました。市長からは、財政危機脱出には職員が一丸となった努力が必要なので、これまで時間をかけ組合と協議を重ねてきた、結果として生じた不足額は自立経営対策室の様々な見直しの中で

補填していききたい、最終日提案については、職員の努力姿勢を少しでも早く示す必要があるという判断からであるとの答弁がありました。

採決の結果、全員一致で可決しました。

また、一般議案「医療給付に関する条例の一部改正について」は、山形県医療給付事業補助金交付規程の改正にもなつて提案されました。重度心身障がい(児)者医療、いわゆる④医療における所得制限の緩和措置に関するもので、厚生常任委員会に付託され審査されました。委員会、本会議ともに全員一致で可決しました。詳しくは12ページの「常任委員会の焦点」をご覧ください。

一般会計補正予算 5079万円を計上

一般会計補正予算についても全員一致で可決しましたが、主な内容については以下の通りです。

長井ダム周辺整備実施プログラム策定委託金247万円は、平成15年度に策定し3年が経過した周辺整備の実施計画について、地元や関係団体などの意見を収集・調整し、計画の再検討をするため計上されました。

コミュニティ助成事業助成金490万円は、パークゴルフ場の整備や自然観察会を開催する成田自治会、伝統文化の継承として獅子舞を後世に受け継ぐ事業をする川窪自治公民館運営委員会と十日町獅子舞保存会の3団体に交付。

山形県強い農業づくり交付金3千万円は、集落営農組織である成田生産組合・(有)ナンブ・営農組合百秋舎の3団体と畜産事業主体である草岡畜産振興会の1団体に交付されます。

また、みどり環境交付金15万円は、今年度新設された山形県の事業ですが、古代の丘遊歩道整備などに充てられます。

人事

監査委員の 選任に同意

いいだ たけし
飯田 武志さん

(ままの上6―24―14)

6月30日をもって任期満了となる監査委員を引き続き選任するため提案されました。全員一致で同意しました。

おおめま ひさし
大沼 久さん

(上伊佐沢2865)

議員のうちから選任するため提案され全員一致で同意しました。

おめでとうございます

《市長感謝状》

長年にわたり、市政の発展と福祉の向上に貢献なされた4名の皆様に感謝状が授与されました。

七市市一 様
榮友小政 様
木田木谷 様
佐島鈴鳥 様

質問

質問の文章は各議員が要約して執筆し、答弁は当局がまとめたものです。
また、文中のQ.は議員からの質問、A.は当局からの答弁となります。

が市政を問う

「担当者任せっきり」 だったから事件が起きた？



高橋孝夫議員

答弁

技術的には頼っていたが
放任していた訳ではない

Q. 本年5月に起きてはならない事件が発生しました。私達は、新聞等の報道によってのみ事件の内容を推測するしかありませんが、「専門的な業務だったので任せっきりだった」という記事は疑問を感じます。「職員服務規程」や「時間外勤務取扱規程」等によった運用がなされているば「任せっきり」という状態は生まれないし、事前に防止することができたと感じますが、どう考えますか。

平成5年に第三セクターとして設立されたJANは、当

初から長井市が深い関わりを持ってきたと感じます。設立経過から見ても、他の一般の同業他社とは違う感覚でJANを見、JANとの関係を作ってきたと言わなければなりません。そうであれば、多分に行政の意思としてJANと契約するという考え方があったと感じる方が自然であり、これまでの市のJANに対する思惑が、今日的な事態を生んだと考えられるのではないですか。

A. あくまでも推定として、当時パソコン業務等に精通し

財政展望と

福祉・教育に与える影響



蒲生光男議員

答弁

財政状況は依然厳しい

Q. 財政危機機脱出元年と位置付けた本年、今後の財政展望をどのようにみているか。また、福祉や教育に与える影響について伺います。

基金繰入という非常手段を用いての財政運営初年度ですが、今年も半分を過ぎようとしています。長井市財政の現状を市民にも説明しなければなりません。市長が言う車座集会はいつから実施するのか、説明責任を果たしながら今後の見通しについて明らかにしていくべきだと思います。

A. 昨年度に示された「骨

太の方針2006」などによると、今後も地方交付税の削減が想定される中で、市税などの大幅な増収も期待できず、本市の財政状況は依然として厳しい状況です。

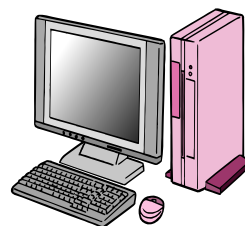
福祉・教育予算については、選択と集中によって対応していきたいと考えています。

Q. 福祉ハイヤーについては、6月補正を指す考えを市長は示しておりましたが、6月議会には盛り込まれておりません。交通弱者など社会的弱者に対する最低限の制度は残すべきであり、今後早急に実

一般 10人

ていたことから、情報管理や地域情報について任せっきりであったのではないかとということとを申し上げました。放任していたという意味ではありません。技術的な面は職員に任せており、チェックできる状況には無かったと考えられます。

すが、契約は、関係規程に従ってしっかりと決裁を行っているものと考えています。



施すべきです。また、市民に對しては、できるだけ早く今後の対応策を示すべきであり、いつからどのように実施しようとしているのか、福祉事務所長の答弁を求めます。

A. 福祉ハイヤーについては、市単独事業での実施を改め、

国の補助制度を取り入れたより良いサービスを検討していましたが、細部の要綱が示されなかったため今議会に提案できませんでした。細部を調整して9月議会に上程し、新しい制度として10月から実施してまいります。

安部 隆 議員



希望の持てる まちづくりの実現

答 弁 地域担当制の導入

Q. 地域担当制の導入については、職員に担当地域を割り当て、直接住民の要望や問題点をくみ取り、担当部署での対応をいただくというも

のです。行政は、最大のサービス産業といわれておりますが、サービス産業に例えれば、主権者である住民の苦情、要望を庁舎の中で待つのではな

く、出向いて要望等をくみ上げるという姿勢もあってしかるべきと思いますが、ご意見を伺います。

A. 今の地区公民館に、自治コミュニティの部分を一緒にした地区公民館として運営していただきたいと考えております。その際、公民館の皆さんに、その地域の市の職員を、担当職員として、お手伝いする「地域担当職員」を設けたいと考えております。

Q. 地方自治体において、自治体の工事、物品納入、委託等入札をめぐることは、談合や収賄事件など、政治家、知事、市長、職員等を巻き込んだ汚職事件は後を絶たず、毎年ど

こかしこで事件が発生し、住民は嫌気をさしています。地方自治法においては、入札は一般競争入札が原則であり、指名競争入札や随意契約は例外といわれていますが、この度の事件についても例外が原則化したことに問題があると思います。

入札制度の適正化と改善策についてお聞きます。

A. 自治体の契約事務については、透明性と機会均等性の確保が要求されるところであり、関係法令に基づいて厳正に執行されなければなりません。今後とも入札契約制度等検討委員会での検討や、契約事務に関する研修会の開催

により理解を深め、誤解を招くことがない制度を確立します。





大道寺信 議員

行財政改革との 整合性が必要では

答 弁
主幹はラインとスタッフを
兼ねる職として

Q. 4月の人事異動で新たな主幹が増え、現在主幹を含めた管理職は37名となっております。その結果、その割合は職員数に対して12・85%になっており、置賜3市5町の中でも非常に高いもの（平均は7・59%）となっております。行財政運営の健全化を進める上で、組織のスリム化や人件費の削減を図る必要があります。整合性がないものと考えます。市長の見解をお伺いします。

A. 本市は、定員適正化計画により新規採用を抑えてきた結果、職員の高齢化とともに役付け職員の割合がどうしても高くなります。現在の主幹制度を、ラインとスタッフを兼ねる職として、将来グループ制をとった場合のグループリーダー的な位置付として事務的効率性を試行していきます。



日鍛バルブ建設予定地（寺泉）

Q. 長井市は先人の大変な企業誘致努力によって、製造業が集積し発展してきましたが、現在は大変厳しい状況になっています。今後次世代に活力ある地域を残すためにも、ものづくり技術の集積という利を生かした企業誘致に努力していく必要があると思います。

A. 基盤技術の集積地という利点を活かした企業誘致は今のチャンスだと思われまので、日鍛バルブを含め、積極的にやっていきます。また、企業誘致だけでなく、観光や短期滞在等による人の誘致も考える必要があると思います。



蒲生吉夫 議員

宙に浮くほど 軽くない年金問題

答 弁
市報などを通して
年金記録の確認の啓蒙

Q. 夕張市の第三セクター「石炭の歴史村観光」が75億円の負債を抱え自己破産しましたが、他の第三セクターも含めて経営がうまくいかなかった場合、責任体制が明確でなく、公共機関に全ての責任がかぶってくるのが共通しています。地場産業振興センター建設当初から年間1億円近い補助金が出され20年になりますが、公共団体から独立した運営と経営ができるような委託、または移管も含めて検討すべきです。JANも市の出資比率50・4%の株式会社ですが、

A. 地場産業振興センターの運営のコストの負担が大きいため、収益部門の利益を上げられるような体制をつくりたいと考えています。JANは毎年1千万円の償還の必要があり、借入残高がゼロになった時点で、民間委託できるのかどうか検討するひとつの時期だと思っています。

Q. 「宙に浮いた年金記録5千万件」は高い比率です。市民には自分で確認することを啓蒙すべきですし、市に対し



渋谷 佐輔 議員

市町合併への取り組み姿勢は

答 弁
合併を積極的に働きかけます

Q. 合併特例法期限切れにより、合併に対する機運は低下したのではないかと見受けられます。長井市の合併を考えた時、自立の道を模索することとは喫緊の課題であることに異論はないのですが、大局的時流と市民生活の将来を鑑みれば、合併による政策的選択は不可欠であります。合併による有利性を検証し、市民の合意を得られる努力も必要なのではないでしょうか。合併に対する市長の見解を伺います。

A. 合併新法下でも一定期間



は地方交付税が保障されます。また、合併しない地域の要望は、国・県に取り上げていただくことが厳しくなると思われます。少子高齢化や厳しい財政状況から、これからの地域

づくりのため、引き続き、県が推奨する置賜3市5町の合併を基本として取り組みます。

Q. 長井ダム completion によって、水難災害を防ぐ手立ては確立したように思われますが、一朝有事不測の事態は、歴史が物語るように、教訓を踏まえた万全の環境対策が必要だと思えます。要は、地域住民が安心感を得られるよう「暴れ川・野川」の無堤防地帯を解消することが大切です。長井市の重要事業として位置づけ、国・県等関係機関に働きかけ実施すべきであります。当局の考えを伺います。

A. 野川の無堤防地帯は、野川まなび館から下流の河川延長7.2kmのうち2.5kmになっています。県当局も、未整備地区ではありますが、緊急優先的な整備を要する認識はないように聞いています。地元の熱意を要望として取りまとしていただき、市の重要事業として検討したいと思います。



無堤地帯の解消が望まれます

て照会がありますか。かつて市が国民年金保険料の徴収事務をしていましたが、その記録はどうなっていますか。

A. 年金記録に関する問合せが多くなっていますので、早め確認をしていただくよう、市報などを通して啓蒙していきます。記録した台帳はありませんが、米沢社会保険事務所に原本の写しがあります。

Q. やまがた緑環境税は、その全てをハード事業に充てるべきで、ソフト事業は日常の行政活動ですべきだと思いますがいかがですか。

A. 東山の松枯れの目立つ森林等、荒廃森林整備には緑環境の約7割が充てられます。今泉区の八ヶ森整備等のソフト事業も、県民みんなが支える森づくりとして重要です。



あら町レトロは大賑わいでした

Q. 5月26日に、つじまつりに合わせて「あら町レトロ」が開催され、やませ蔵通りにテナントの出店が並びました。新潟県のコロッケやフランク、さくらんぼ交遊館から韓国物産キムチ等、地元産の米沢牛串焼き、アユ塩焼き、ちびっこ駄菓子屋、フリーマーケット、山形工科短期大学在校生さんの名物横手焼きそば等が販売されました。蔵と庭のある古い町並

答 弁

観光も協働で

市民と協働で 元気なまちづくりを



谷口 栄子 議員

みのあら町商店街のお店を回って、スタンプを押してもらった後、抽選会で商品を当てようと多くの人が集まり、お店ではお茶も準備してくださって庭や蔵を見学させてくれました。野尻博さんの大道芸もあり、子供から大人まで楽しく過ごせたイベントでした。「あら町レトロ」と花回廊事業の今後の取り組みについて伺います。

A. あら町レトロは、観光と連携した街中の賑わいづくりに向けて実施しましたが、来客の方も含めて好評を得たと受けとめています。重要なのが、今後にどうつなげていくかであり、観光も協働で進めていくという考え方です。やまがた花回廊キャンペーンも誘客効果は上がっていると見られ、単年度で終わらせない取り組みを考えていきます。

Q. 県の事業で、緑環境税の交付金で古代の丘遊歩道整備、西根小学校茸栽培体験学習に6月補正予算が計上され

ました。森林教育を含めた本市の今後の取り組みを伺います。

A. 各小学校で自然体験学習を取り入れており、植林をしている学校もあります。

森林教育は大事と考えていますが、特別に時間をとるのは難しい面があり、学校、学年、PTA行事と関連させる工夫が必要と考えます。



我妻 昇 議員

なぜ職員の給与カットに 踏み切らないのか

答 弁

合意が前提ですが
難しい場合は決断も

Q. 財政危機脱出元年と位置づけた今年度、あらゆる経費削減を進めるなか市民にも多大な我慢を強いている現状ですが、なぜ職員の給与カットに踏み切らないのか。労使交

渉にかける市長の決意を伺います。

A. 人件費の削減については、事務レベルで協議を進め、市長交渉も3回ほど行ってきました。4月に説明会を行い、



藤原 民夫 議員

定率減税廃止に伴う影響は

答 弁
税の説明と
保険証交付に配慮

Q. 今年、定率減税全廃と、
 老年者控除の廃止による課税
 額の経過措置2年目の負担増
 によって大増税となり、さら
 に税源移譲にともなう市民税
 の大幅増が重なるわけですが、
 これに対する市民への周知は
 どう行っているのか。また、
 国保税が払えず、滞納してい
 る人は保険証が取り上げられ、
 医療費を全額払わなければ治
 療が受けられない。先日国会
 で厚生労働省が「国保証の
 機械的な取り上げはしない」
 と回答しています。この見解
 について市長の考えを伺いま

す。
A. 5月15日の市報に掲載し、
 納付書にも資料を同封しまし
 た。他に、地区の座談会等で
 6回程説明をしました。
 資格証は、実情を踏まえ審
 査会を経て発行し、必要に応
 じ相談の上、短期保険証発行
 の配慮もしております。保険
 制度と公平性維持のため、厳
 正な対処にもご理解ください。
Q. 昨年度は、中央公民館
 運営体制を見直し、各地区公
 民館振興事業を「中央公民館
 運営協議会」に委託すること
 とし、事業費と人件費5千6

80万円の予算で事業を展開
 しています。①この団体の事
 務所はどこか。②業務請負の
 内容と指揮命令権は。③職員
 の勤務実態と労働時間等に関
 する指示、管理は。④損害賠
 償責任について、事業主とし
 て責任を負っているのかどう
 か。⑤公民館備品の貸与状況
 は。以上について伺います。
A. 中央・各地区公民館を、
 それぞれの運営協議会に業務
 委託を行い、民間活力で生涯
 学習事業を推進しています。
 人件費と事業費の委託で事務
 所はそれぞれの公民館にあり
 ます。指揮命令と職員の管理
 は運営協議会にあり、賠償責
 任は長井市に、備品について
 は無償貸与となっています。



6月20日に交渉を予定してい
 ますので、合意が前提ですが、
 難しい場合は、その時点で判
 断しなければならぬと考えて
 います。

Q. 全国には市報やホームペ
 ージに企業の広告スペースを
 設け、その料金収入を得てい
 る自治体が多数あります。政
 令指定都市はもちろん小さな
 市町村までもが僅かな財源を
 得るために採用しています。
 長井市でも増収対策の新たな
 手段として取り組んではいか
 がでしょうか。

A. 現在市営バスについて、
 広告を募集するよう準備を進
 めています。また、封筒やホ
 ームページ、さらに市報の広
 告等については、改めてト
 ータル的に検討し、実現向け
 て進めたいと考えています。

Q. あやめ公園の入園料を5
 20円から700円に値上げ
 したことで大幅な増収を見込
 んでいるようですが、来年度
 以降その財源をどのように活
 用する計画でしょうか。

A. あやめ公園については、

市民の皆様から大変なご協力
 をいただいておりますが、作
 業員の人数が少なく、株分け
 作業や公園の手入れが十分に
 できない状況があります。花
 の公園としては殺風景などと
 感じる部分もありますし、公
 園内に障がい者用のトイレが
 ない等のご指摘もあります。
 入園料の収入増分は、そのよ
 うな部分にも使わせていただ
 きたいと考えております。



今年のあやめは、どうでしたか？



鈴木悟司 議員

子供達の安全と花の長井の まちづくりについて

答 弁

歩道の安全対策を進めます

Q. 通学路に安全対策の不十分な箇所があり、危険だと思われる歩道が長年にわたり対策が取られないままになっています。事故が起きてからの対応ではなく、緊急性が必要な場所に対しては、地域の声を聞いて早急な対応をすべきだと思いますが、対策についてお伺いします。

A. 市内の危険と思われる歩道等の解消について、各小学校で作成の「地域安全マップ」と、地域や学校の協力を得て行う「危険箇所アンケート調査」を基に、関係機関と連携



キケンがいっぱいの通学路

し安全対策を講じてまいります。

Q. 子供達の学校給食について、輸入野菜や加工食品の安全性について大変不安に思っています。給食材料についてすべてを国内産で賄うことは可能なのか伺います。米飯給食で使用されているレインボーブランド米の使用について、標準米との差額分が保護者負担になるようですがいかがですか。

A. 一部の果物を除き、原則県内産・国内産を指定し、産地表示を義務付けています。

レインボー米の差額負担については、保護者のご意見もお聞きし、対応を検討します。

Q. 花の長井のまちづくりの取り組みで、最上川河川緑地公園の花壇については、フラワーボランティアとして市民の皆さんから花苗の植栽と育成管理にご協力を得て、長年にわたり植栽をしてきましたが、徐々に面積が減っているようです。花いっぱいにする対策についてお伺いします。

A. 当該公園の花壇については、ここ数年フラワーボランティアの数も減少しております。花壇のオーナー制や多年草の植栽等の提案もいただいております。ご意見をお聞きする機会を設けて検討していきます。



フラワーボランティアは長井の心

予算特別 委員会



総括質疑

救命救急センターでの
非紹介患者初診加算料
の見直しを

高橋孝夫委員 平成18年1月から、公立置賜総合病院救命救急センターで受診した場合にも、非紹介患者初診料を適用することになりましたが、私は疑問を感じます。特に夜間は、かかりつけの医院等では診察を行っていませんし、置賜長井病院でも5月から午

後9時までの診察に変更されました。物理的にも、救命救急センター以外では診察を受けられない状況があり、非紹介患者初診加算料を請求することは無理があると思います。内容重治市長 夕方5時以降7時から9時までの時間帯に集中しているのが実態です。全体の合意が必要であり、議会でも言っていたら、副管理者として見直しと検討を求めていると思います。

委員 県内4カ所、行政が地域の医師会と委託契約を結び夜間診療体制をとっています。将来的に、長井市でも実施できないかの検討や、医師会等とのすり合わせを行う必要があると考えますが、いかがですか。

市長 労働過重や財政負担等を考えると厳しいと感じます。ただ、市でできることは何かについて、もう一度見直すよう検討したいと思います。

JANの問題は 構造的欠陥

蒲生吉夫委員 第三セクター

のJANも地場産業センターも、市長が采配できる組織になっていきます。庁内の電子化を進めるには、生産手段としてのパソコンが一人一台の体制になっていなく、個人の機器を仕事に使用しているのではないですか。セキュリティ面やエアコンのない職場なので壊れたときはどのように処理していますか。

松木幸嗣企画調整課長 庁内で使用している私有パソコンは113台で、修理または再起不能の場合は個人で対応していただいています。セキュリティポリシーの基準に従って対応しています。仕事のパソコンが私物では問題があり、他を削っても整備しないと問題が生じる可能性があると思っています。

委員 自衛隊の情報保全隊の活動が問題になっています。長井市国民保護計画ができたことにより、防災訓練などに自衛隊が来賓に来ることはないですか。

平 進介総務課長 これまでの地域防災訓練でも自衛隊へ

の要請はしておりません。現時点でも参加の要請は考えておりません。

委員 各種選挙の投票事務に携わる事務局職員を、市職員以外からも採用をすべきと思いますがどうですか。

総務課長 職員が減少しており、投票票を分ける方向で考えています。

早急な計画の策定を

町田義昭委員 長井ダム建設は、平成22年完成に向け順調に進んでいます。ダムの恩恵は周辺環境整備の充実にある



順調に工事が進む長井ダム

と考えます。行政として計画が整備されているのか。また、早い機会に計画をまとめるべきと思いますが、どうですか。松木幸嗣企画調整課長 平成15年度に策定した「長井ダム周辺環境整備計画」実施計画は、変更しなければならぬものの、新規に取組まなければならないこと、再検討すべきものが出てきているので、本年度は、これらを周辺整備の実施プログラムとして取りまとめ、連絡協議会で承認いただき策定します。

委員 ダム完成後、まなび館は国交省より市に移管されると思いますが、条件等はないのですか。また、まなび館並びに西跡地は、平野地区の共有地組合より購入と聞いていますが、面積・金額・購入時期を教えてください。利用計画はまだと思いますが、厳しい財政下で国交省や関係機関への協力要請は不可欠だと思いますが、当局の考えはどうですか。

企画調整課長 まなび館の移管については、法的側面、施

上空から眺めた
野川まなび館周辺



設の管理の側面からダム事務所に検討いただいています。買収面積は、約2万5千㎡、価格は約2000万円弱で、平成23年買収の見込みです。関係機関への整備協力要請については、実施プログラム策定において具体的に詰めています。

補正予算の主な内容

【歳入】

(単位:千円)

○長井ダム周辺整備実施プログラム策定委託金	2,478
○コミュニティ助成事業助成金	4,900
○山形県強い農業づくり交付金	30,013
○みどり環境交付金	1,150
○教育総務費委託金	2,292
○18年度置賜広域病院組合負担金精算金	7,227

【歳出】

○コミュニティ助成事業助成金	計	4,900
①成田自治会		1,600
②川窪自治公民館運営委員会		1,500
③十日町獅子舞保存会		1,800
○山形県強い農業づくり交付金	計	30,013
農業振興費①成田生産組合		18,927
②(有)ナンプ		4,416
③営農組合百秋舎		2,940
畜産業費 草岡畜産百秋舎		3,730
○「問題を抱える子ども等の自立支援事業報償費		1,138

「医療給付事業に関する条例の一部改正について」は、山形県医療給付事業補助金交付規程の改正にもなっており、提案されたものです。

市民課からは、重度心身障がい(児)者医療、いわゆる④医療における所得制限を、市民税課税所得金額145万円から市民税所得割約20万円に緩和する。また、⑤医療の受給にあたり、65歳以上の方は老人医療の資格認定が必要となる。さらに、⑤医療の調剤薬局における調剤費の自己負担が、負担無しから1割負担となる。なお、今回の改正により④医療費が約45万6千円減額となる見込みだが、事

厚生

常任委員会の 焦点 主な審査結果など

業費が未確定の段階であるので、事業費が確定した段階での補正予算を考えている、との説明でした。

委員からは、今回の所得制限緩和に該当する人数と改正内容の説明方法について質疑がなされ、課長からは、4人が該当し条例可決後に個別に通知するとの説明を受けました。採決の結果全員一致で可決しました。



ながいの元気印

- ・長井ジュニア卓球スポーツ少年団
- ・長井南卓球スポーツ少年団

現在、長井市には29のスポーツ少年団があり、約800名の団員が学校や地域を越えて所属しています。今回から元気に活動している子供達を紹介していきます。

長井ジュニアスポ少

指導員 青木 弘吉

子供は社会の宝、みんなで育てようのスローガンで毎日楽しくきびしい汗を流して皆んな頑張っています。団員は23名。練習は週2回。もつと頑張りたい人はいつでも練習出来ます。『卓球のまち長井』『卓球の強い長井』を引き継いでいこうと燃えています。今年の県大会の成績は団体戦で長井ジュニアが1位2位独占という大会始まって以来の快挙でありました。子供達は日増しに強くなりその中で左右田颯斗君が東北で1人全日本ナショナルチームのメンバーの合宿に選ばれ頑張ってきました。左右田君の目標は

2014年東京オリンピックで活躍出来る選手になりたいと言っています。

長井ジュニアは卓球が強いばかりでなく、あいさつや感謝の気持ちを大切にしています。好きな卓球が出来るのも父さん母さん周りの人達のおかげと感謝し家での手伝も必ず実行。また、車に乗せてもらう時は親でも「お願いします」「ありがとうございます」と大きな声で言う約束をしています。『努力は喜びに比例する』この言葉を信じ、楽しくきびしく今日も子供達と頑張っています。



“快挙”

県大会団体戦

長井ジュニア（男子）

アベック優勝

長井南（女子）

長井南スポ少

指導員 遠藤 文一

豊田卓球スポーツ少年団を前身として、昭和63年6月に設立された長井南卓球スポーツ少年団は、その名の通り南中学区の子供を団員とする小・中一貫による継続指導を行うことで、子供の潜在能力を引き出し、全国で活躍することが出来る選手を育成することができるようという方針で設立されました。活躍の足跡は、平成4年県ホープス大会男女団体アベック優勝、同大会男子団体で平成3年から4連覇、平成5年全日本ホープス大会男子団体優勝等が

特筆されます。さらに今年の県大会で、女子団体が14年振りに優勝することができ男子の「長井ジュニア」とともに男女アベック優勝することができて、本当にうれしく思います。現在男15名、女13名が豊田小学校体育館を中心練習場として活動しています。個人競技と捉えるのではなく、「一人一人はみんなのために、みんなは一人のために」を胸にお互いが思いやりをもって人としてのあいさつや礼儀協調性を指導しています。地域の財産である子供達から夢と元気を分け与えてもらえることはかけがえのない喜びです。



傍聴席

本町北 女性の会
中川 コウ

市議会を傍聴して

議会傍聴は初めてなので、期待しながら席に着いた。まず目についたのは議長席が高いのにびっくりした。

まわりを見たところ傍聴する人は少なかった。議員の方も少ないので、どうしたのかと思った。たら定刻間際に入られた。

内谷市長の挨拶では、JANの不正のことで頭を下げられお詫びしていた。新任なされたばかりなのに残念に思う。3市5町合併についてなかなかまとまらない様子。環境対策、温暖化の対策など、少し話が長いように思われた。もっと活発な議会かと期待したが、穏やかな流れだった。分かりやすい答弁を望みます。

議会だより読者モニター

大募集!!

これまで議会だよりを編集するにあたり、公正で読みやすく、多くの市民の皆様に読んでもらえる誌面づくりに努めてまいりました。しかし、実際に読んでみての感想をお聞きする機会を設けておりませんでした。その反省を踏まえ、今後は読者の皆様から感想文を頂戴し、より良い誌面づくりに活かしたいと考えたとこです。

つきましては、今年度4回発行される議会だよりの読者モニターを募集いたします。ご協力いただける方のご連絡をお待ちしております。

お問い合わせ 88-2900
編集委員会

質問者が真剣に話をされている時、関心のないような人も見受けられた。議員の質問を聞いて、長井をよくするために、自分達で出来ることは何かと考えさせられた。このまちは、空気もいいし、水も美味しいし、次々と綺麗な花が咲く。このまちを大切にしたいと思います。

9月議会の予定

(開会)は午前10時

8・27(月) 告示

8・30(木) 議会運営委員会

9・3(月) 開会

9・6(木) 一般質問

9・7(金) 一般質問

9・10(月) 総務・文教常任委員会

委員会

9・11(火) 厚生常任委員会

9・12(水) 産業・建設常任委員会

委員会

9・13(木) 決算特別委員会

9・14(金) 決算特別委員会

9・19(水) 予算特別委員会

9・21(金) 表決・閉会

◎正式な日程は、議会運営委員会
会で決定します。

議会傍聴に

お越しください。

議場入口で、氏名、住所を記入してお入りください。

なお、議場へは庁舎東側階段
をご利用ください。

※質問内容については市のホームページで事前にお知らせしています。

編集後記

7月1日、市民待望の「さくら大橋」の開通式が、梅雨の季節にもかかわらずさわやかな式典日和のもと挙行されました。市民の熱い思いと関係者のご苦労が実ったと思います。通行する車両はもとより、通学する児童・生徒の安全性が確保されたのではないのでしょうか。今後は、長井の新たなシンボルとして市民に愛されることでしょうか。

今回から編集委員会は、我妻委員長を中心に新メンバー6名になりました。今後も分かり易く親しまれる広報紙づくりに努めてまいりますので、よろしくご愛読お願いいたします。酷暑の折、皆様のご健康をお祈りいたします。



安部 隆 鈴木 悟司

小関 勝助 ○竹田 博一

大沼 久 ◎我妻 昇

◎委員長 ○副委員長